

祝 全国総体準優勝（ボクシング競技） 楠朱貴君



【会場にて】

佐賀県で開催された、平成19年度全国高校総合体育大会ボクシング競技大会において最も軽いモスキート級（45kgまで）に、和歌山県・近畿代表として、楠朱貴君が出場しました。7月28日に開会式・身体検査・体重測定がありましたが、日頃からのウエイトコントロールも順調で試合に臨むことができました。ただ、参加人数が少ないために、試合は8月1日からとなり、その間も食事を制限し、体調維持が大変でした。8月1日は香川県代表と、2日は東京都代表と対戦し、いずれもポイント勝ちしました。3日の決勝戦は、静岡県代表と対戦しました。3ラウンドまでよく頑張ったのですが、途中15ポイント差によるRSC負けとなりました。結果として準優勝でしたが、ボクシング競技では、和歌山県で初めてとのことでした。



【開会式での表彰；右端】

人権平和学習 8月7日（火）

本校では、夏季休業中の登校日に人権平和学習を実施しています。今年は、8月7日和歌山市民会館において、フリーカメラマンの久保田弘信さんを講師に招いて行いました。久保田さんは、アフガニスタン難民の救援活動をしながら取材をしたり、イラク戦争勃発後は現地に向レポートを日本のメディアに発信したりしておられます。



【講演中の久保田さん】

当日は、VTR やスライドを用いて、イラク情勢を報告していただきました。戦争が始まる1日前に撮影した、一見陽気なイラク軍下級兵士の写真が印象的でした。彼らは、死ぬのがわかっていながら、生き

た証として写真撮影を希望したとのことでした。「戦争の悲惨さを知る・平和の尊さを学ぶ」目的で行った平和学習ですが、生徒達はあらためて戦争の悲惨さや平和の尊さを認識してくれたことと思います。

ボランティアで活躍 生徒会執行部 8月4日（土）

生徒会執行部の中から4名の生徒が、特別養護老人ホーム「紀伊松風苑」納涼大会にボランティアとして参加しました。生徒達は、当日ご家族の方が面会に来られなかったお年寄りの方のお世話をさせて頂きました。初めての経験で、最初は戸惑っていましたが、時間の経過とともに場の雰囲気にも慣れ、交流を深めていきました。



【少し戸惑いながらのお世話】

今年の春、「本校の生徒が道で転んだおばあさんのお世話をした。」という電話があり、それが契機となり、「自分たちにも何かできるのでは？」と、今回の活動となりました。

参加した生徒は、「楽しかった。」「良い経験になった。」「また、やってみたい。」という感想を述べていました。他人に何かをしてあげたという自己満足ではなく、「感謝の心」「人を思いやる心」「人に尽くせる喜び」を学んだと思います。

第55回県下高等学校書道クラブ合同研究会に参加

7月31日から8月2日の2泊3日で高野山・遍照光院において合同合宿がありました。本校からは、2名の生徒が参加し、他校の生徒達と親睦を深め、技術の研鑽に励んできました。製筆墨の見学もさせて頂きながら、日頃の半紙練習とは異なる大作にも挑戦しました。



【大作の前で】

最終日には、先生に作品を批評していただき、冬の総合文化祭での作品発表にむけて、更なる研鑽を積むことを胸に誓いました。

9月の主な行事予定

4日（火）・7日（金） 科目選択ガイダンス（1・2年）

14日（金） 前期末考査（～20日）

28日（金） 前期終業式・卒業式